

ねこまがだけ おくにぬま  
**コース14 猫魔ヶ岳・雄国沼**

リーダー CL K.M.  
 実施日 令和3年6月25日(金) 天候 晴れ グレード B  
 参加者 17人(男性 5 女性12)

**コースポイント**

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		7:00	予定通り出発、新津駅西口で2人乗車
道の駅磐梯	8:20	8:35	休憩・足ごしらえ、直ぐに歩きだせるように
八方台駐車場	9:05	9:10	磐梯山のメインルートの駐車場だけあってほぼ100%
猫魔ヶ岳山頂	10:30	10:35	途中猪苗代湖の展望台に立ち寄り
雄国沼休憩舎	12:05	12:30	猫石経由で雄国沼休憩舎へ、少し手前の湖畔で昼食
雄国沼休憩舎～ 湿原回廊を周遊 (素晴らしい)	12:35	13:50	雄国沼休憩舎にザックを置き、いざ回廊散策へ ニッコウキスゲの大群落とコバイケイソウが美しい
雄子沢登山口	14:55	15:10	全員無事下山・ドロドロの登山靴を脱ぎホットする
道の駅裏磐梯	15:20	15:40	休憩・身支度・お買い物 さあ新津へ帰ろう
秋葉区役所前	17:50		予定より少し早めに到着 解散

**山行等概要(幹事のコメント)**

- ・ 週間予報では絶望的だったが2～3日前から好転の兆しが。2日前には当日の雨は無いと判断し実施とする。
- ・ 直前に数年毎にしか咲かないコバイケイソウが咲いているとの情報が得られた。
- ・ ニッコウキスゲについては敢えて情報収集せず出たとこ勝負で行こうときめていた
- ・ 猫石に到達したとき雄国沼が見下ろせ、湿原回廊が黄色に染められている情景が垣間見え良かった。
- ・ 湿原回廊ではニッコウキスゲの大群落とコバイケイソウ(終わりがけではあったが)に歓声が
- ・ 皆さんの協力に感謝。



猫魔ヶ岳山頂

## 猫魔が岳～雄国沼

1658 O.M.

大好きな山登りのおかげで、彩り豊かな日々を過ごせています。日頃から体力を養っていたおかげで、どうにか皆さんについていけて楽しい一日でした。暑くも寒くもない、心地よい風が吹く天気にも恵まれた日でした。新津を出発し、ノンストップで「道の駅ばんだい」に到着、名峰磐梯山のお出迎えです。身支度をして、再びバスに乗り登山口へ。

ゴールドライン入口ではヤマボウシの花がエールを送ってくれました。さっそく各班に分かれての出発です。雑木林の緩やかな道を進むと猫魔見晴台へ。猪苗代湖を眼下に見下ろし、ワクワク感を抑えながらさらに進むと猫魔が岳頂上到着です。あいにくと雲が垂れ込め視界はゼロでしたが、シャクナゲ、ウラジロヨウラク等のお花が歓迎してくれました。そこから15分くらい歩くと猫石に到着です。あいかわらず視界はゼロでしたが、ものすごく大きな岩で圧倒されました。岩に上っている人もいたようです。そしてブナ林、小さな沢をいくつも横切ると、次第に道は泥んこ道に変わり、沼が近いと感じられました。湿原標高1089mの静かな雄国沼の入り口に到着、ここで昼食です。ニッコウキスゲ、ヒオウギアヤメ達に出会い、素晴らしい景色に



花の雄国沼から磐梯山を臨む



ニッコウキスゲの大群落とコバイケイソウの中で

見惚れていると、遠方の黄色い絨毯に目を奪われました。あれはニッコウキスゲ？と期待に胸を膨らませていると、あっという間

の出発時間です。雄国沼休憩舎まであと少しです。荷物を置いて雄国沼へ。それはもう圧巻の景色でした。見渡す限りのニッコウキスゲの絨毯です。木道を進むと、トキソウ、ワタスゲ、

コバイケイソウ等が咲いていました。「百聞は一見に如かず」とはまさにこの事だと思いました。体の中にパワーが吹き込まれた感じがして、本当に来て良かったと思いました。景色を楽しんだ後の下りは、ブナの原生林のトンネルをいくつも超えて、山腹を巻くように下りました。時々ブナが励ましてくれているように感じ、背筋が伸び、元気をもらえているようでした。無事雄子沢駐車場到着です。



ニッコウキスゲの大群落とコバイケイソウが美しい



雄国沼休憩舎前にて

リーダーをはじめ、皆さんには大変お世話になりました。紅葉を楽しみに秋も参加したいコースでした。